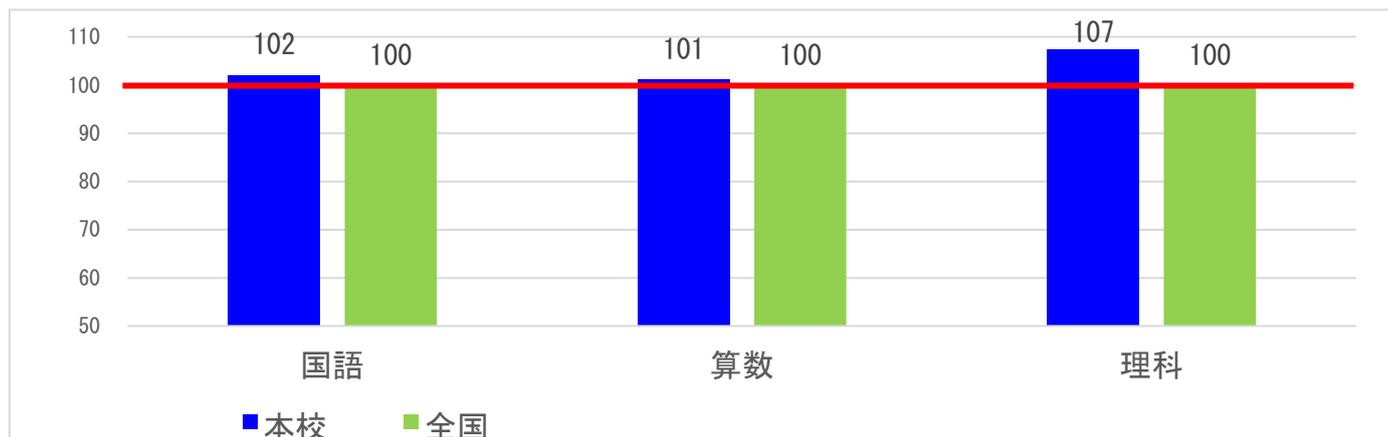


# 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果

## 1 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果（全国との比較）



## 2 成果（○）と課題（●）

※ 全国を100とした時の本校の結果

### （1）国語

- 通過率は全国を2.0ポイント上回った。
- 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることに課題が見られた。（正答率：36.1%）
- 「したしむ」という漢字の書き取りの無答率が県の数値と比較すると若干高めだった。（無答率：9.4%）

### （2）算数

- 通過率は全国を1.0ポイント上回った。
- ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解することに課題が見られた。（正答率：19.6%）
- 伴って変わる二つの量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述する問題に課題が見られた。（正答率：45.1%）

### （3）理科

- 通過率は全国を7.0ポイント上回った。
- 日光は直進することを理科しているかを問う問題への課題が見られた。（正答率：26.5%）
- 実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる問題への課題が見られた。（正答率：38.2%）

### （4）児童質問紙

- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」という質問に対し、75.3%の児童が当てはまると回答しており、県や全国の数値よりも高い結果だった。
- 本校の児童は国語や算数の記述の問題に対し、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した児童が80%を超える結果が出ており、児童が粘り強く問題に向き合っていることがわかった。
- 週末のほとんどを家で過ごし、動画・テレビ・ゲーム・SNSを利用している児童が79.4%もいた。
- 新聞を読んでいない児童が76.7%で、昨年度と比較すると増えている。

## 3 今後の対応

- （1）国語については、授業の中で感想意や意見を伝えあう場面を多く取り入れ、自分が書いた文章のよいところに気付くような機会を児童に与える必要がある。また、児童質問紙から新聞離れが進んでいる児童が多いので、新聞（コラム、オセモコ等）の記事を取り上げ、新聞を読ませたり、感想を書かせたりするような機会を増やす必要がある。
- （2）算数については、5年生の「割合」の問題に対して、課題が多いことがわかった。比べられる量、元にする量、割合の関係を図で表したり、計算したりできるようしっかり復習する必要がある。家庭では、算数と生活の結び付きを気付かせたり、家庭学習の確実な見届けを行ったりすることへの協力をお願いしたい。
- （3）週末のほとんどを家で過ごす児童が多く、動画・テレビ・ゲーム・SNSの利用率が非常に高いこともわかった。タブレットを遊びだけで使用するのではなく、タブレットを学習で使用することを全職員で共通理解し、それを実践していく。また、学級PTA等でも話題にし、保護者の協力等も依頼する。